

Fly High

大志をいだけ！

国立市立国立第八小学校 研究便り
校長 牧野 陽一郎
No. 6 平成29年12月4日
国立第八小学校 研究部

『Fly High 大志をいだけ！』は、本校が進めている研究活動を保護者の皆様にご紹介するための研究便りです。研究内容や公開授業の日程、子供たちの様子等をお知らせしていきます。今回は、第4回の研究授業の様子をお知らせします。研究授業は保護者の方にも公開しています。一生懸命活動している子供たちの姿をぜひご覧ください。

さくら学級 「車を動かそう」

10月18日(水)

車を作って遊ぶことを通して、自分の車を手で押さないで動かす方法を考えました。もっとよく走るよう改造しようと、ワークシートに仮説や絵を描きました。「うちわを強く振ると、風が来て動く。」「ドライバーの風（扇風機の風）を当てると走る。」「風船を膨らませて（中の）空気から風が出て走る。」等です。そして、風をたくさん受けられるよう、車に大きな帆をつけたり、車軸にゴムをかけ車体にプロペラを付けて車輪を動かそうとしたり、さまざまなアイディアが出ていました。



次の時間は、考えた車を作って走らせるので楽しみです。



研究授業の見どころ

3年生「ものの重さ」

12月7日(木) 午後1:15～

ものの形を変える前後で、重さは変化するか比べます。算数の学習と関連させて、はかりの使い方や小数を使って重さを量ります。実態調査をしたところ、80%以上の児童が、すでにものの形と重さの関係について正しい知識をもっています。今回は、実際に調べることで実感を伴った理解を促し、他のグループの結果を含めて考察させ、仮説や検証方法を再考しようとする態度を育てていきたいとします。1組は、ものの重さを調べた結果から、仮説通りに行かなかった原因を考えていく予定です。また2組は、検証方法を再考し、再実験をして結論をまとめていく学習をする予定です。

6年生「水溶液」

12月8日(金) 午後1:15～

水溶液の学習が終わってからの発展的な学習です。無色透明の水溶液をこれまで学んだ知識や技能を活用して、見分ける活動を行います。

ここでの見どころは、「見分けるための実験方法を自分たちなりに考え、計画図を書く」場面と「実験結果から、対話的な学びを通して水溶液の特定をする」場面です。

どちらも既習事項を生かし、基本的な知識の定着にもつなげていきたいと考えています。